



「楽しく仕事をして3年目。毎日支えてくれる母に感謝。 家族を旅行につれていくことが僕の望みです」

塩田 一樹 (21 歳・広島県)

「アドボケート」(advocate) とは、障害関連では、権利擁護のための活動を支持する人、擁護する人、代弁する人の意味です。この企画では、「セルフ・アドボケート」=ダウン症のある人たちに、自ら、自分の言葉で、現在の生活についてや思いなどを伝えていただきます。全国からの発信をお待ちしています。

<3月21日の記念イベントでの本人発表より>

皆さん、こんにちは。

私は塩田一樹です。

私は広島市に住んでいます。

私は21歳です。

高校を卒業して、郵便局で働いています。

今年で3年目です。

月曜日から金曜日まで、朝9時から3時45分まで働いています。

金曜日の帰りに友達とゲームをしに出かけます。また映画にも行きます。

土曜日には、毎週、水泳に行きます。

水泳は小学校から続けています。

水泳で1級です。

そして今は06級(注:4種目を1分30秒以内で泳ぐ級)に挑戦しています。

郵便局での仕事は、清掃が主な仕事です。

仕事は楽しいです。

それは、みんな優しいからです。

お昼にはお弁当を食べます。

いつもお母さんがお弁当を作ってくれます。

とてもおいしいです。

「お母さん、お弁当を毎日ありがとう!」といつも言っています。

それを言うとお母さんは笑顔になります。

僕が一番嬉しいことは、お母さんが笑顔になることです。お母さんの笑顔を見るために、お手伝いをしています。

洗濯物を畳むことをしています。

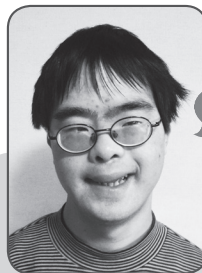
畳むのが僕の仕事です。

お母さんの笑顔が一番嬉しかったのは、お母さんが病気で入院した時、さみしかったからです。その時、お母さんの笑顔が見たかったからです。

お母さんが病気になって、お母さんの笑顔が沢山見たくくなりました。

今、お金をもっと貯めて、家族を旅行につれていきたいです。家族でお母さんの笑顔をもっともっと見たいです。

これからも、お母さんの笑顔が見れるように頑張ります。



プロフィール

1992年広島県広島市生まれ。小学校は普通学級、中学校は特別支援学級、高校は特別支援学校を卒業。卒業後は日本郵便(株)広島中央郵便局に勤務し、清掃業務を担当している。小学5年生から習い始めた水泳は1級。体力維持のため週1回はスイミングスクールに通い、06級(※本文に注あり)に挑戦中。趣味はゲームと映画鑑賞。